

1 維持管理状況（平成 30 年度の生育状況調査結果）

(1) 調査対象

平成 21～29 年度（平成 22・24 年度を除く）に事業実施した箇所

(2) 調査方法

緑のパトロール隊が巡回して目視で調査し、以下の 4 段階で評価

・100%の植栽等が良好に生育	・・・1	良好	概ね良好
・100%未満 80%以上の植栽等が良好に生育	・・・2	やや良好	
・80%未満 50%以上の植栽等が良好に生育	・・・3	やや不良	
・良好に生育している植栽等が 50%未満	・・・4	不良	

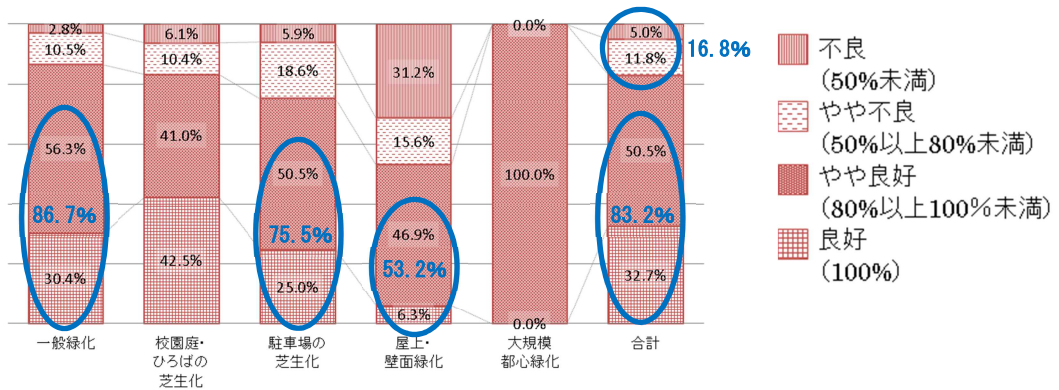
(3) 調査結果

① 全体

○ 概ね良好の割合が 83.2%、概ね不良が 16.8%となっている。

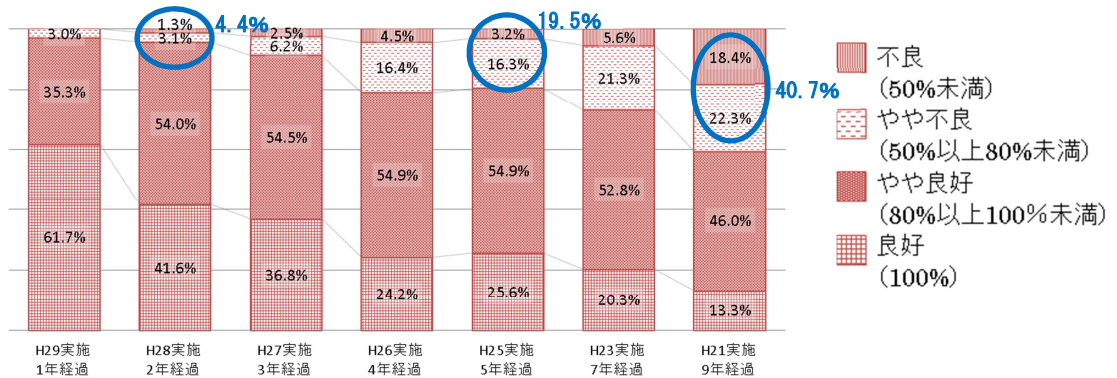
② 補助メニュー別

○ 概ね良好の割合が、一般緑化（86.7%）では全体よりも高いが、駐車場の芝生化（75.5%）や屋上・壁面緑化（53.2%）では低くなっている。



③ 実施年度別

○ 概ね不良の割合が、事業実施後 2 年経過で 4.4%、5 年経過で 19.5%、9 年経過で 40.7%となっており、年数の経過により維持管理状態が悪化している。



○ 住民団体が事業実施する場合に専門家講習会の受講を義務付けた平成 28 年度実施箇所と、義務付け前である第 2 期各年度実施箇所の 2 年経過時の状況（平均）を比較すると、概ね良好の割合が 3.9%改善している。

実施年度	2年経過時の評価				備考	
	良好	やや良好	やや不良	不良		
第2期	H23	40.0%	45.6%	7.8%	6.6%	H25調査結果
	H24	41.0%	52.1%	4.9%	2.0%	H26調査結果
	H25	52.3%	42.1%	5.1%	0.5%	H27調査結果
	H26	49.5%	42.0%	7.3%	1.2%	H28調査結果
	H27	57.7%	36.2%	4.9%	1.2%	H29調査結果
平均(①)	48.1%	43.6%	6.0%	2.3%		
第3期	H28(②)	41.6%	54.0%	3.1%	1.3%	
		95.6%		4.4%		
H28と第2期平均の差(②-①)		-6.5%	10.4%	-2.9%	-1.0%	
			3.9%		-3.9%	

2. 緑化事業後の生育不良の原因

- ・植栽直後は、水遣りや追肥、剪定など日常的な維持管理が組織的に実施できていたが、リーダーの交替や会員の高齢化により従来どおり維持管理が出来なくなり生育不良となる事案が見られる。
- ・一方、適切に維持管理されているものの、日当たりの悪い場所やコンクリート土間で囲まれた場所での植栽など、計画段階で生育不良となることが想定される事案や、水鉢を設けるなど植栽場所の状況に配慮し植栽を行っておれば生育不良にならない事案も見られた。
- ・また、現在生育不良であるものの、追肥や剪定により生育改善が見込める事案もあり、植栽後も専門家講習会の積極的な活用が求められる。

(1) 維持管理不足によるもの

- ・樹木の根が張るまでの1～2年間、水遣りが不足したこと
- ・定期的な追肥、剪定が不足していること
- ・下草刈りができておらず、雑草が繁茂していること
- ・代表者の交替に伴ない維持管理意識が低下したこと

(2) 現場不良によるもの

ア 一般緑化

- ・水鉢がなく、根まで水が浸透していない
- ・植栽時に必要以上に深く植えられている
- ・西日が強く土壌が乾燥し、水分が不足していること
- ・既存樹木の隙間に植栽され、日照が不足していること
- ・土間コンクリートに覆われ、根が張るスペースが不足していること
- ・植樹場所の気候にあわない樹種を選定したこと

イ 校庭・ひろばの芝生化

- ・踏圧による損傷（児童数に対し芝生面積が狭小、遊具への通り道）

ウ 駐車場の芝生化

- ・使用頻度が高く、タイヤ圧により損傷
- ・近接する建物の日陰や日中の駐車車両による日照不足

エ 屋上緑化

- ・水遣りが不足、土壌改良が不十分であったこと

(3) 県民まちなみ緑化事業 生育不良箇所の事例

1. 一般緑化



植栽直後の灌水不足（サザンカ）



植栽直後の灌水不足（ハナミズキ）



剪定不足（サルスベリ）



植栽帯の雑草の繁茂（サンシュユ）



西日が強く土壌が乾燥



根鉢スペースの不足



水鉢なし（シラカシ）



日照不足（ソメイヨシノ）

2. 校庭・広場の芝生化



芝生面積に対し児童数が過大で土壌が固結



踏圧による生育不良、雑草の繁茂

3. 駐車場の芝生化



駐車車両による日照不足



排水不良



タイヤが乗る部分の土壌が固結

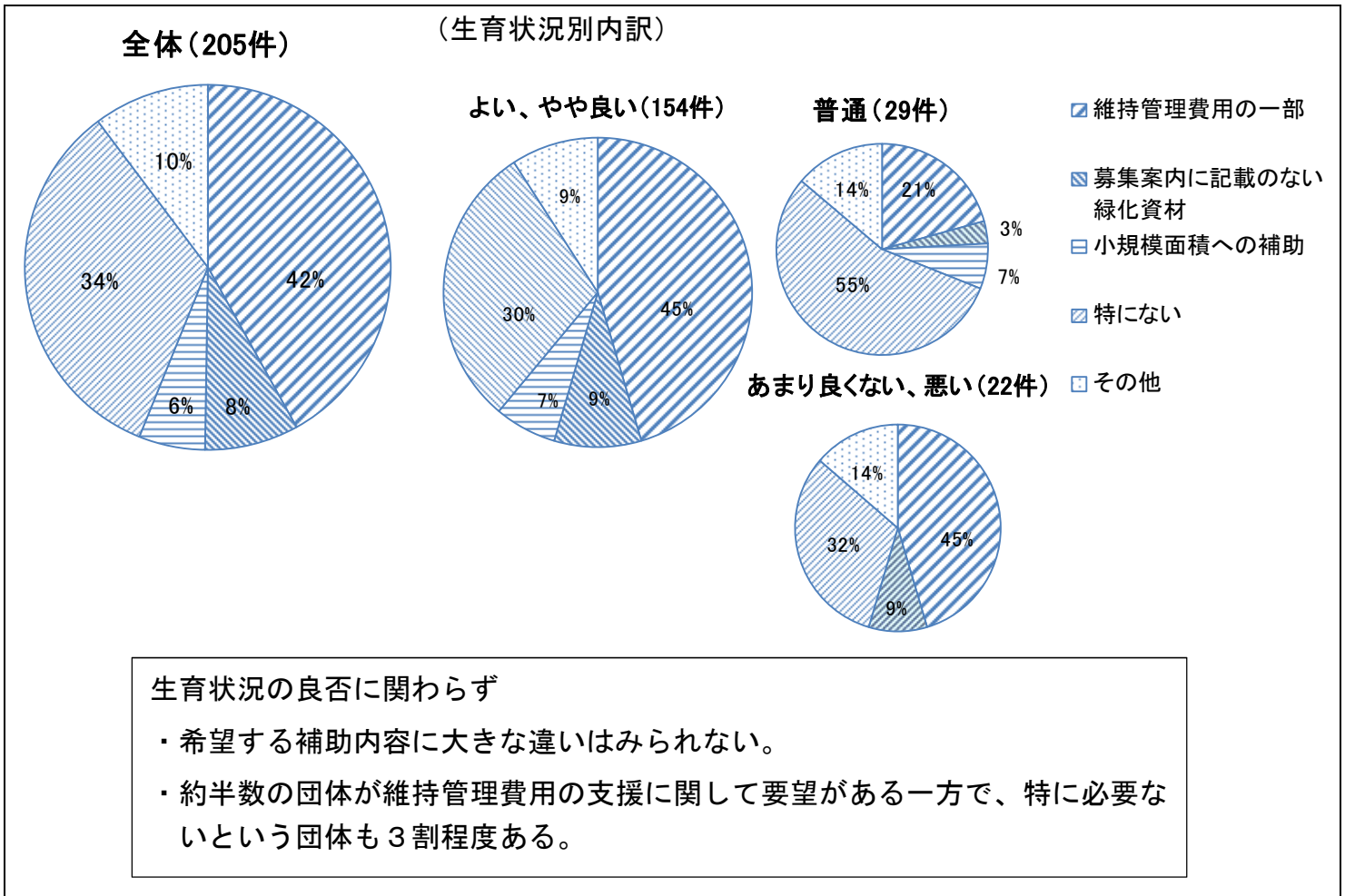
4. 建築物の屋上緑化



灌水装置の不良、植栽時の土壌不良

(4) 実施者が求める支援 (H29 実施団体への調査)

ア 植栽後の生育状況別 希望する補助内容



イ 維持管理費のうち希望する支援内容 (要望の多いもの)

(ア) 住民団体が行う維持管理への支援

- ・水道代
- ・肥料、除草剤の購入費
- ・芝刈り機、草刈り機購入費

(イ) 専門業者への委託費用

- ・除草作業費、植替え経費

ウ 募集案内に未記載の緑化資材の具体例

- ・除草剤
- ・散布機
- ・エアレーション道具
- ・柵
- ・ベンチ
- ・肥料代
- ・除草シート
- ・散水設備

いずれも植栽時に補助可能な緑化資材であり、緑化事業後に必要性を感じて記載されたものと推察

- ・希望する支援内容について、植栽後、継続的に必要になる水道代や肥料代への要望が多い。
- ・植栽時に補助可能な緑化資材もあり、現状を把握した上で計画時に植栽後の維持管理を想定して必要な緑化資材を準備しておくことが望まれる。